
アクマになりました。

かくかくしかじか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アクマになりました。

【Nコード】

N5552X

【作者名】

かくかくしかじか

【あらすじ】

死後の世界は存在した。

あらたな学園生活。

魔術、モンスター、世界。ありがちな学園ものです

1 (前書き)

更新は遅いです

1

皆さんは死後の世界を信じるだろうか。幽霊なんていないし、そんなものあるわけないと思う人。天国や地獄は存在するから、人としてちゃんと生きようと思う人。言い出したら切りがないが考えは人それぞれだ。

突然だが俺は死んだ。どうやって死んだかは分からないが死んだ事だけは分かる。俺は神様も幽霊も天国とかも大して信じていない。あるかも知れないが、結局は死なないと分からない事だから興味を持たなかったのが正しいかもしれない。

何が言いたいかと言うと、死後の世界は存在するということだ。だって死んだ俺に意識があるんだから

2 (前書き)

き
こ

そんな俺は気がついたら、どこか知らない所にいた。自分以外にも何百人もいて皆同じ様に周りを見回してるのをみると誰もがこの状況を理解してないようだ。

現在俺たちは学校の体育館とでもいう様な所にいる。入学式とも言えるべきか、30人ぐらいの列が20組に並ばれていて、みんな制服というべき紺のブレザーを着てイスに座っている。自分でもいっ服が代わっているのが不思議で仕方ない。

広い体育館は隅々まで見事に飾られていて、空中には【入学おめでとう】という文字が浮かんでいる。ハリー・ポッターでの風景を実際に体験してるみたいだ

突然、浮いている文字が変化していく。【学校長の話】へと

そうすると、前にある壇上に人が現れる。40代ぐらいのオールバックのダンディーな男性だ。渋い感じの男から見てもモテると分かる

「静粛に」

声が広い空間に響き渡る。たった一言により、さらに音がなくなつた気がする。何故か座る姿勢が急にキチンとした物に変わり、周りも同じ様に背筋を伸ばして座っている。皆、不思議がっているようだが声が出ず話す事が出来ない。

「まず言わせていただくのは、大多数の方は気づいていると思うがここは死後の世界ということだ。信じられないかも知れないが事実である。では何故かこんな学校みたいな所にいるのかと考える人もいるかも知れないが私にも分からない。それでは自己紹介をさせて貰おう。私の名はキッド、キッド・マツカートニー。勿論これは偽名だ。この世界では本名を名乗れないのだよ、覚えておいてくれ。この【魔火射野学園】の学園長を務めている。この学園では勉強は教えない。ここでは君達が悪魔として生きていけるようにするため

の学園である。いろいろと大変な事があるだろうが、なるべく早くなれる事を進めるよ。ついでに言うならば、君達がキチンとした姿勢で話を真面目に聞かされてるのは私のせいだ。どうやっているかも知いずれ分かるだろう。ではこれで入学式も終わりでいいだろう。去らばだ、諸君」

きつとこういうのを嵐が通りすぎたと言うんだろう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5552x/>

アクマになりました。

2011年10月19日02時08分発行